



No. 333

令和3年2月号

茂原市教育委員会  
茂原市青少年指導センター  
〒297-0023  
茂原市千代田町2-8-20  
相談電話 0475-22-0080  
一般電話 0475-22-4466  
F A X 0475-22-0080

# 未来に羽ばたく

新成人 おめでとう!



令和2年度、茂原市では、750名の方々が、成人を迎えました。成人式は中止となってしまいましたが、市長、市議会議長、愛媛FC辻周吾選手（茂原市スポーツ大使）からのお祝いのメッセージや新成人を代表した3名の方々の誓いのことばが、動画共有サービスで配信されました。

誓いのことばを一部抜粋し、掲載させていただきました。

今日まで私たちと関わり合い、私たちを育て、励まし、たくさんのご指導をいただきました家族や先生方、地域の皆様に、本日無事成人を迎えたことをご報告するとともに、感謝の気持ちを新成人一同、今改めて強く感じています。現在、世界では数えきれないほど多くのことが起こっており、私たちを取り巻く環境や社会はめまぐるしく変化しています。私たちがこれから進んでいこうとしている未来は、必ずしも輝いているとは言えないかもしれません。しかしながら、どんなに困難な状況でも、これからは自らの手で新しい道を切り拓いていかなければなりません。これまで周りの方に助けていただいた分、社会に貢献し、次の世代へと受け継いでいくのが私たちにとっての使命であります。成人として晴れの門出を迎えた今、大人としての自覚をもち、そして将来への希望を抱き、責任ある社会人のひとりとして常に前向きに歩いていくことを誓います。時にはちょっとしたことでつまづいてしまうこともあるかもしれません。どうかこれからも地域の皆様の温かいご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

富士見中学校卒 平川

順也

中学校を卒業して早5年、皆さんは様々な道を歩まれていると思います。私は、演劇の勉強をしています。演劇という役者や演出家のイメージが強いと思います。しかし、それだけでは演劇は成り立ちません。役者、演出家、美術、照明、音響、舞台監督、制作など様々な人が関わり、一つの舞台を作っています。考えの違う人々が一つの作品を作るということはとても難しいです。時に衝突をすることもあります。しかし、様々な考え方があるからこそ、それが合体した時、とても厚みのある面白い作品が出来上がるのです。人生には気の合う人、自分とは考え方が違う人などいろいろな人がいると思います。時にはもう関わりたくないと思う人もいるかもしれません。しかし、様々な人々と関わっていくことは一人で生きるよりも何倍も人生が面白くなると思います。20年という月日が経ちましたが、私たちが主人公の物語はまだ始まったばかりです。そして、この物語を作っていくのは紛れもない私たち自身なのではないでしょうか。今思い描いている筋書き通りに物語が進んでいかなくても自分たちが振り返った時、「面白かった」と言える人生にすることをここに誓い、成人の言葉とさせていただきます。

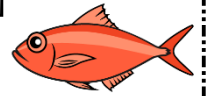
早野中学校卒 佐原 咲来

世界中の誰も予想していなかった新型コロナウイルス感染症が流行した影響で、私たちの生活に、大きな変化がもたらされました。そして、この感染症の流行によってもたらされてしまった負の側面として、当たり前のように行われていた人との触れ合いが、希薄になってしまったことが挙げられます。この人との触れ合いは、私たち新成人が歩んできた20年間の道のりに深く関わっています。私たちは、決して自分だけの力で一人の立派な人間として成長したのではなく、産まれた時からたくさんの愛情を注いでくれた家族、時には仲良く、時には切磋琢磨しあった友人、人としてあるべき姿を教えてくださいました先生、そして、今までに出会ったすべての皆さんのおかげで今の私たちがいます。人との触れ合いが希薄になってしまった今だからこそ、人と繋がることの大切さを考え、これまで自分たちを支えてくれた人たちに感謝の気持ちを持つことが、大切なことなのではないかと思えます。そして、成人としての門出を迎えた今、このような逆境にも負けず、大いなる夢や希望を胸に抱き、自分が思い描く理想の人間像を実現させるために、弛まず努力をしていこうと思えます。

東中学校卒 宗島 尚之

成人を迎えられたみなさんが、夢に向かって一步一步前進されることを期待しています。今後のご活躍とご健勝を心からお祈りしています。

# 『あなたをささえます』



【一生を笑顔で暮らせる願いを込めて・・・】

## 輝

チームのみんなで支え合っ

『高校サッカー選手権』や『春高バレーボール』、高校バスケットボールの『ウィンターカップ』、『箱根駅伝』等の大会が、各地で繰り広げられました。コロナ感染防止のため無観客や沿道での応援が自粛になったことで、テレビを通して今まで以上に選手や監督・コーチの『生の声』を聞くことができました。試合の最後までグラウンドやコートに響きチームを鼓舞する高校生の声は、とても感動的なものでした。また、箱根駅伝の給水所では、「いけよ、頼むぞ!」と怪我のために出場を断念した選手が走者の背中を押す声がとても印象的でした。目標に向かって、みんなで支え合えるチームのすばらしさを感じました。

## 青パト通信

～ 小学生の下校時の風景より ～



下校時のパトロール中に、ねぎが入った袋を胸に抱えた小学生男児のグループを見かけました。声を掛けてみると、「校外学習でねぎ農家を訪れ、自分たちでねぎを収穫してきました。」とのことでした。今夜の食卓では、「僕が収穫したねぎはおいしい?」との声が聞こえる家族の団らんが目に浮かびました。地域の方々との触れあいの中で、地域の特産や良さを知り、地域を愛する心を育ててほしいと思いました。

## 補導・相談・不審者情報

令和2年12月24日～令和3年1月21日まで掲載

＜補導状況＞ 6人

自転車の乗り方	その他
4	2



安全運転

＜不審者情報＞ 0件

4月からの不審者情報については、茂原市HP「わが街ガイド」に掲載している。



＜相談状況＞ 5件

家庭生活	迷惑行為	その他
1	1	3

### STOP! ネット犯罪

不審者がSNS上で接触してくることがあります。

- ①フィルタリングを必ず利用する。
- ②個人を特定できる情報をSNSに書き込まない。
- ③SNSで知り合った人に会いに行かない。

### ◆ 相談窓口 ◆

悩んだら 悩み始めたら 話してすっきり 1人で悩まないで!  
家庭生活 学校生活 いじめ 不登校 非行 何でも相談してください。

茂原市青少年指導センター相談窓口

○電話相談 0475-22-0080

○メール相談

seishonen@city.mobara.chiba.jp



